市民のみなさんからの
疑問にお答えします

鳥取駅構内にあった行政サービスセンターはどこへ行ったのですか？

鳥取駅構内にありました行政サービスセンターは、平成16年11月1日から「行政サービスコーナー」と名称を変更し、市役所本庁舎1階（鳥取市尚徳町116番地）で業務を行っています。

開所時間　平日　午前8時30分～午後7時（毎月最終水曜日は、電算処理などの業務のため午後5時まで）土・日曜日　午前8時30分～午後5時

閉所日　祝日、年末年始など

業務内容　**住民票および戸籍に関する証明書の発行**（戸籍の謄・抄本、身分証明書、住民票の写しの発行、記載事項証明、外国人登録原票記載事項証明）／**税証明書の発行**（所得証明、資産証明、納税証明）／**住民異動届の受理**（転入届、転出届、転居届など）／**印鑑登録、登録証の再交付及び印鑑証明書の発行**

※平日の午後5時から午後7時および土・日曜日に、住民異動届（転入、転居など）をされた場合、業務上、（台帳への記載作業のため）次の手続きは、翌開庁日以降に行っていただくことになります。

▼住民票や戸籍の附票の写しの発行

▼印鑑登録及び印鑑証明書の発行

▼住民票の記載事項証明など

その他の業務につきましても、受付時間によって取り扱いが変わる場合がありますので、ご確認ください。

問い合わせ先　市役所本庁舎行政サービスコーナー

TEL（0857）20-3065

因幡万葉夢幻譚

巻四　渡る世間には鬼がいる！

©鈴木靖将

月は改まり、二月。庭の梅の木末を眺めていた家持さんが、不意に私を手招きする。「何かよいことでも」と私が問うと、「今年は無病息災だ。早々に白い動物を見たからな。それに立春に一月遅れたが、今初めて鶯が来て鳴いたのだ」と嬉しそうに家持さんは言うのである。

「鶯が鳴くと何かよいことでも」と私が不思議に思い問えば、「時を管理する天皇にとって、立春に鶯が鳴くことは、めでたいことなのだ」と大真面目な顔で答える家持さんに、忠節な役人の姿を感じるのだった。

「現代では、この頃節分（立春の前日）といって鬼は外、福は内などといって豆をまきますが…」と私が問うと「宮中では、大晦日の夜に悪い鬼をはらって、病を除く鬼やらいという儀式を行う。内裏の四つの門を巡って、鬼に装った者を追い回すのだ」と言いながら、家持さんの眼は都を懐かしがっている風だった。そこで私が、「その鬼の形相は、家持さんを因幡守に左遷した、時の宰相・藤原仲麻呂殿の顔に、よう似ているとか」と家持さんをからかえば、「いやいや、鬼は、都の大寺で四天王に踏まれている邪鬼か、鬼瓦のような顔じゃが、一国の政治を預かっていれば、心を鬼にすることもあろう」と家持さんは慌てて否定するのだった。

「今も昔も、渡る世間には鬼がいるのですね」と私が呟くと家持さんは、苦笑いすることしきりだった。

…続く

鬼やらい
黄金の四つ目の仮面を被って、黒い衣装を着た者が右手に桙、左手には楯を持って鬼を追い回し、紺の衣を着た童子が駆け回る。そして王らは桃の弓や、葦の矢で鬼を射る

（文＝因幡万葉歴史館主任学芸員　中山和之）

万葉クイズ

（先月の問題）
『見礼杼安可奴香聞』は何と読む？

（解答）
見れど飽かぬかも

（今月の問題）
文中の白い動物とは何？

※1月1日号の文中の天平宝字3年（789）は、（759）の誤りでした。訂正するとともにお詫びします。